第２回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）
福法倫が斬る！？「脱」困難事例 ～どうしようを解きほぐすヒント～

テーマ：『 最期は家で過ごしたい… ～家族関係疎遠の一人暮らしの願いを叶えるには～ 』

講　師：沖縄大学 人文学部 福祉文化学科 教授／社会福祉士　玉木 千賀子　氏
ゆいま～る法律事務所　弁護士　寺田 明弘　氏
琉球大学病院 地域・国際医療部　臨床倫理士　金城 隆展　氏

〇日　時：令和８年１０月２８日（水）　午後７時００分～９時００分
〇場　所：大浜第一病院・２階 あめくふれあいセンター
〇参加者：２０名（看護師５名、保健師１名、社会福祉士２名、
ケアマネジャー・ケアプランナー８名、その他４名）



司会：安里 千文 氏

【目的】困難事例を多角的に学び、複雑な問題に直面したときの対処能力を向上させる。
また、困難事例との出会いで新たな経験を得ることで、学びを深め自己成長を目指す。
【方法】事例＋問い、グループワーク（事例検討 ⇒ 多職種それぞれの視点から意見交換）

サマリー

今回の研修会では、家族関係が疎遠な一人暮らしの方の「最期は自宅で過ごしたい」という願いをテーマに、本人の想いを尊重した支援のあり方について、多職種の視点から学びを深めた。参加者からは、「答えは枕元にある」「看護は目的ではなく、その人を幸福にする手段である」といった講師の言葉が印象に残ったとの声が多く、支援者側の価値観や都合ではなく、本人の想いに立ち返ることの大切さを再認識する機会となった。また、職種を越えた意見交換を通して、多様な視点や社会資源を活用した支援の可能性についても理解が深まった。今後も、実践的な困難事例を通して、多職種が互いに学び合い、本人の願いを支えるための連携や支援力の向上につながる研修を継続していきたい。

㊗令和８年度 全過程修了マイスター授賞㊗
誠におめでとうございます！！

・ケアプラン Brave
介護支援専門員
新城 嘉代 様
（初受賞）

・株式会社リンクス
入所相談員
當間 弘和 様
（３回目の受賞）





【事例提供者】大浜第一病院 医療ソーシャルワーカー 當銘 由香 氏



【講師】沖縄大学 福祉文化学科 教授 社会福祉士 玉木 千賀子 氏



【講師】ゆいま～る法律事務所 弁護士 寺田 明弘 氏



【講師】琉球大学病院 地域・国際医療部 臨床倫理士 金城 隆展 氏



グループワーク および 発表















令和8年度 第２回在宅医療・介護スクラム塾（多職種連携研修会）

福法倫が斬る⁉「脱」困難事例 ～どうしようを解きほぐすヒント～

日　時：令和8年10月28日（水）　19時00分～21時00分
場　所：大浜第一病院・2階 あめくふれあいセンター
テーマ：『 最期は家で過ごしたい… ～ 家族関係疎遠の一人暮らしの願いを叶えるには ～ 』
講　師：玉木 千賀子 氏（社会福祉士）、寺田 明弘 氏（弁護士）、金城 隆展 氏（臨床倫理士）
事例提供：大浜第一病院 MSW　當銘 由香 氏
参加者：20名（看護師5名、保健師1名、社会福祉士2名、ケアマネジャー・ケアプランナー8名、その他4名）
アンケート回答者：20名（回収率100％）

１．経験年数について

経験年数	人数	割合
1年未満	1	5%
1～5年未満	4	20%
6～10年未満	7	35%
11～20年未満	5	25%
21～30年未満	1	5%
31年以上	2	10%
総計	20	100%

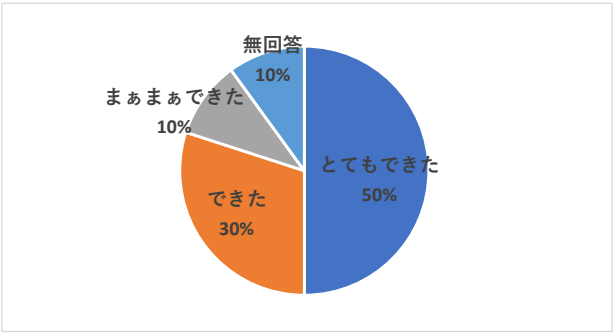
２．職種の内訳

職種	人数	割合
医師	0	0%
歯科医師	0	0%
看護師	5	25%
保健師	1	5%
薬剤師	0	0%
栄養士	0	0%
MSW	0	0%
ケアマネジャー・ケアプランナー	8	40%
リハビリ	0	0%
社会福祉士	2	10%
介護職（ヘルパー等）	0	0%
歯科衛生士	0	0%
その他※	4	20%
総計	20	100%

※その他（終身サポート事業、入居相談員、医療事務）

３．グループワークでは、ご自身の意見を遠慮なく発言することができましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	10	50%
できた	6	30%
まぁまぁできた	2	10%
できなかった	0	0%
無回答	2	10%
総計	20	100%



＊グループワークに関するご意見・ご感想等がありましたら、お聞かせください。

・地域包括支援センター、ケアマネさんと一緒で話しやすく、とても勉強させていただけた。
・3名という少人数で、全員が話したり質問できて良かった。
・ケアマネ、施設の相談員、ケアプランナーそれぞれの立場で活発な意見を聞くことができた。
・他職種の意見が良かった。参考になった。
・メンバーの方の意見がとても的確で、皆さんから勉強になる話を聞くことができた。
・様々な職種のメンバーで構成されていたので、それぞれの専門の意見、エピソードが聞けて良かった。
・違う視点を持つことを学べた。
・本人・家族の意向、中心にいるのは本人であることを忘れずにチームアプローチ（できることを考えていく）の大切さを再認識できた。
・各事業者さんの意見が聞けることは、すごい勉強になった。
・いろいろな経験談、専門的な見方を聞くことができた。
・間近で違う職種の方の意見や視点を聞くことができ、すごく勉強になった。
・所属や職種の異なるグループだからこその学びが多かった。
・自分とは違った考えを聞くことができて良かった。
・もう少し意見交換の時間があると良かったが、とても充実したグループワークができた。
・司会が上手くいきませんでした。

４．3名の講師へのご意見・ご感想等ありましたら、お聞かせください。

・いつもハッとするお話ありがとうございます。
・専門分野が異なると表現の仕方が大きく異なる。他立場の方の言葉は、普段の自分の考え方の癖を気付かせてもらえた。
・いつも勉強になる。
・勉強になる意見をありがとうございました。
・多様な視点を学ぶことができた。
・とても大切な視点や考え方を学ぶことができた。
・違う視点で面白かった。
・金城先生の“理想”を聞くのが好きです。
・「考え方」について学ぶことができた。
・「枕元にたちかえる」「ご本人の想いを一緒に考えていく」たちかえり、もちかえりたいと思う。

・それぞれの視点での話がとても参考になりました。「今後の支援に活かす」を心にとめる。
・毎日の＋α大事な部分も話して下さるのでありがたい。
・できる事をしっかり考えて、答えを出していく気持ちが一番大事。
・講師それぞれの目線での問題点や、何を考えるべきか？改めていろいろ考えさせられた。
・医療倫理、法律、福祉の視点から、はっきりポイントをおさえたご意見をいただけて、今後の業務に落とし込もうと思った。手段と目的を区別して考えること、必ず支援の基には本人さんがいることを念頭に置いて支援に努める。
・「看護は目的ではなく、その人を幸福にする手段である」「答えは枕元にある」という言葉がとても心に残っている。

５．本研修会全体へのご意見・ご感想等がありましたら、お聞かせ下さい。
・医療・介護以外の方（大家さん、不動産など）を入れると全く違う論点になるので、面白いかもと思う。
・①正しく悩む、②他者に向き合う、③自分に向き合う、なぜ家族を必要以上に求めるのか？辛い気持ちを受け止める。
・身寄りがない人へのインフォーマルな資源について知ることができた。
・本当に勉強になります。
・事例も良くてよかったです。
・私は看護師なので、また違った見方が発見できた。
・今後も出来る限り参加して、いろんなケースを学びたい。
・とても良く、楽しくグループワークができました。自事業所にて同様の勉強会を行いたいと考えています。
・初めての参加でしたが、素晴らしいと思う。
・グループワークは苦手ですが、ならではの学びもあり参加して良かったです。
・準備ありがとうございます。
・夜遅くまでありがとうございました。

６．本研修で取り上げて欲しい困難事例がありましたら、お聞かせ下さい。
・支援の途中、スムーズにいかなかった事例、上手くいかなかったこと、本人の意向に添えなかったことなど。
・目が見えない、耳が聞こえない人への困難事例を通しての関わり方について。
・障がいのある利用者への支援事例。
・社会資源の見つけ方、連携方法。
・事例は毎回変えていただきたい。